

Kenko

ケンコー デジタルカメラ

KC-03TY

取扱説明書



このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用の前には必ず取扱説明書をよくお読みいただき、安全に正しくお使いください。

早見表

セット内容  ▶10	各部の名称  ▶11	モードの変更  ▶14	充電電池の 取り付け  ▶15	充電電池の充電  ▶16	電源の オン／オフ  ▶19
SDHC/SDXCメモリーカード を使用する  ▶20	SDHC/SDXCメモリーカード を取り付ける  ▶23	SDHC/SDXCメモリーカード のフォーマット Format  ▶25			
日時の設定  ▶27	静止画の撮影  ▶31	セルフタイマー  ▶34	画像サイズ  ▶38	露出  ▶42	ホワイト バランス  ▶43
ISO 感度  ▶48	手振れ軽減  ▶49	動画の撮影  ▶53	ビデオサイズ  ▶56	ファイルの 再生  ▶58	動画ファイル の再生  ▶64
設定メニュー  ▶70	パソコンとの 接続  ▶75	WEB カメラ  ▶78	故障かなと 思ったら  ▶79	記録可能枚数 / 時間の目安  ▶81	仕様  ▶83



目次

はじめに	06
安全上のご注意	07
カメラの紹介	10
セット内容	10
各部の名称	11
ボタンの機能をご紹介します	12
LEDインジケータ表示	14
モードの変更	14
ご使用の前に	15
充電池の取り付け	15
充電池の充電	16
リチウムイオン充電池に関する安全上のご注意	18
電源のオン／オフ	19
ストラップの取り付け	19
SDHC/SDXCメモリーカードを使用する	20
SDHC/SDXCメモリーカードを使用する前に	21
ファイル名／フォルダ名を変更しない	22
SDHC/SDXCメモリーカードを取り付ける	23
SDHC/SDXCメモリーカードのフォーマット	25
日時の設定	27
言語の設定	29

静止画モード	30
静止画撮影モードの液晶モニター表示	30
静止画の撮影	31
ズーム撮影	32
内蔵LEDライトの設定	33
セルフタイマー	34
連写モード	35
静止画撮影メニュー	36
モード設定	37
画像サイズ	38
美肌	39
撮影モード	40
セルフタイマー	41
露出	42
ホワイトバランス	43
画質	44
シャープネス	45
効果	46
ISO感度	48
手ぶれ軽減	49
顔検出	50
スマイルショット	51



目次

動画モード 52

動画撮影モードの液晶モニター表示	52
動画の撮影	53
ズーム撮影	54
内蔵LEDライト撮影	54
動画撮影メニュー	55
モード設定	55
ビデオサイズ	56
美肌	57
露出	57
ホワイトバランス	57
シャープネス	57
効果	57
ISO感度	57

再生モード 58

ファイルの再生	58
静止画再生モードの液晶モニター表示	59
再生ズーム	60
サムネイル表示	61
クイック消去	62
動画再生モードの液晶モニター表示	63
動画ファイルの再生	64
クイック消去	64
再生メニュー	65
消去	66
保護	67
回転	68
スライドショー	69



目次

設定モード 70

設定メニュー	70
言語	70
日時	70
省電力	71
操作音	72
電源周波数	73
フォーマット	74
リセット	74

パソコンとの接続 75

パソコンとの接続	75
データを保存	76
転送時のご注意	77
ファイル名について	77
WEBカメラ	78

故障かな?と思ったら 79

記録可能枚数/時間の目安 81

静止画	81
動画	82

仕様 83

仕様	83
必要なパソコン動作環境	85

保証規定 86



はじめに ご使用前にお読みください。

このたびは、本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書と保証規定をよくお読みの上、正しくお使いください。
また、お読みになった後はいつでも見られる所に大切に保管してください。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方が書かれています。
本書をよくお読みの上、製品を正しく安全にお使いください。
本製品をご使用中に生じたいかなる二次的損害についても補償いたしかねます。

- 結婚式や旅行など大切な撮影の前には必ず事前にテスト撮影を行ってください。
- 本製品の使用および故障により生じた画像データの破損、消失による利益損失、損害などに関し、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 著作権や肖像権などにお気をつけください。撮影を制限されている場所もありますのでお気をつけください。
また、プライバシーを侵害するような撮影は行わないでください。
- カメラを長時間使用するとカメラ本体が熱くなりますが、これは異常ではありません。
- 液晶モニターに使用されている液晶パネルは、非常に高精度な技術で作られておりますが、画素欠けや常時点灯があります。液晶パネルメーカーの保証値となります。また記録される画像には影響されません。
- 本取扱説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 本取扱説明書の図、写真の画面などは説明のために作成したものです。あらかじめご了承ください。
- 本取扱説明書の内容の一部もしくは全部を無断で複製することは、個人で楽しめる場合を除き禁止されています。
- 製品改良のため予告なく外観、仕様などを変更することがあります。
- 本取扱説明書に記載のシステム名、商品名および会社名は各社の商標または登録商標です。



安全上のご注意 必ずお読みください。

本製品を安全にご使用いただくために、下記の項目をご使用前に必ずお読みになり、正しくお使いください。
本製品を正しくご使用いただき、お使いになる人や他の人々への危害と財産への損害を未然に防止するために、次の絵表示で説明しています。

 危険	この指示に従わないで誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う切迫した危険の発生が想定される内容です。
 警告	この指示に従わないで誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
 注意	この指示に従わないで誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性、または物的損害が生じる可能性が想定される内容です。 ※物的損害とは、家屋・家財に関わる拡大損害を示します。

 図記号の例	○記号は禁止(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は○の中や近くに文章や絵で示します。
	❗記号は強制(必ずやること)を示します。 具体的な強制内容は、❗の中や近くに文章や絵で示します。左図は一般的な強制を示します。

⚠ 危険

	可燃ガス、爆発性ガスなどが、大気中に存在する恐れのある場所での製品の使用はおやめください。引火・爆発の原因となります。本製品を分解したり、直接ハンダ付けするなどの加工および、火中投下などは行わないでください。発熱、発火、破裂の危険があります。 本製品を高温の場所(真夏の車内、暖房器具のそばなど)で使用、保管しないでください。
--	--



安全上のご注意 必ずお読みください。

警告



- 目に深刻な損害を与える恐れがありますので、至近距離で内蔵LEDライトを発光させないでください。
- 本製品を歩行中、または運転中に絶対に使用しないでください。交通事故の原因となります。
- 本製品を足場の悪い環境や、不安定な場所で使用しないでください。事故の原因となります。
- 本製品は防水構造ではありません。水をかけたり、濡らしたりしないでください。製品内部に水が入ると火災や感電、故障の原因となります。
- 感電の恐れがありますので、濡れた手で本製品を触らないでください。
- 本製品の分解や改造は行わないでください。火災や感電、故障の原因となります。内部の点検や修理は販売店もしくは当社までご依頼ください。
- 本製品を室外で使用中に落雷の恐れがある場合、すみやかに使用をやめてください。事故の原因になります。
- ケーブルやストラップが首に巻き付くと窒息の危険があります。お子様の手の届かないところに保管してください。
- ポリ袋(包装用)などを小さなお子様の手の届くところに置かないでください。口にあてて窒息の原因になることがあります。



- 小さな付属品を飲み込む恐れがありますので、お子様やペットの手の届く範囲に本製品を放置しないでください。
- 本製品に何らかの液体が入った場合、使用を中止してください。電源を切り、お近くの販売店にお問い合わせください。



安全上のご注意 必ずお読みください。

⚠ 注意



- 本製品は精密な電子機器です。以下のような場所で使用したり放置すると火災や感電、故障の原因となることがありますので避けてください。
 - 砂、ほこり、ちりの多い場所
 - 火の近く
 - 湿ったところ
 - 振動の激しい場所
 - 温度・湿度の変化が激しい場所
 - 直射日光を浴びる場所や暖房器具のそば。
- 車内は、温度変化が激しく高温あるいは低温になり振動もありますので使用および保管は避けてください。
- 本製品を落としたりぶつけたりして強い振動や衝撃を与えないでください。
- ケーブルやストラップ等を持って振り回さないでください。他人に当たり、けがや事故の原因となることがあります。
- 平らで安定した場所に設置してください。不安定な場所に置くと転倒、故障、事故の恐れがあります。
- 故障防止のために、以下のことは避けてください。
 - 強い衝撃や落下
 - 風呂場などの湿気の多いところや、倉庫などほこりの多いところでの使用
- レンズを直射日光に向けて撮影または放置しないでください。集光により内部の部品が破損し、火災などの原因となります。
- 電極部分などには一切触れないでください。感電や故障の原因となります。
- 本製品を保管するとき、上に重い物を載せないでください。故障の原因になります。
- 本製品に付属のケーブルを接続するとき、無理矢理入れたり外したりしないでください。故障の原因になります。

その他のご注意

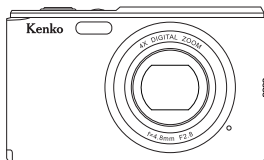
- 電池は、一般に低温になるにしたがって一時的に性能が低下します。寒冷地で使用するときは、本製品を防寒具や衣服の内側に入れるなどして保温しながら使用してください。低温により性能が低下した電池は、常温に戻ると性能は回復します。
- 撮影条件、使用環境および電池により撮影枚数、撮影時間が減少する場合があります。
- 本製品のレンズや液晶モニターが汚れたとき、市販のクリーニング布で拭き取ってください。汚れたままですと、鮮明な写真を撮影することができません。



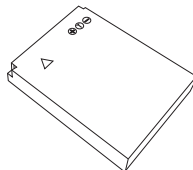
カメラの紹介

▶ セット内容

以下のセット内容が揃っているかご確認ください。万一、不足しているものがあれば、ご購入店またはケンコートキナーお客様相談室までお申し付けください。



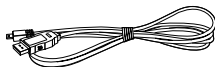
カメラ本体



リチウムイオン充電電池



ストラップ



USBケーブル
(TypeA to miniUSB)



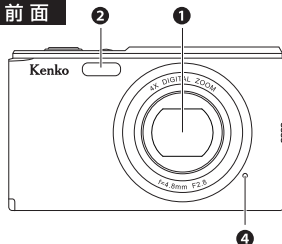
取扱説明書(本書)



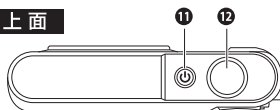
カメラの紹介

各部の名称

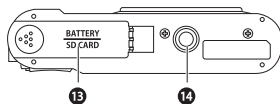
前面



上面



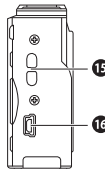
下面



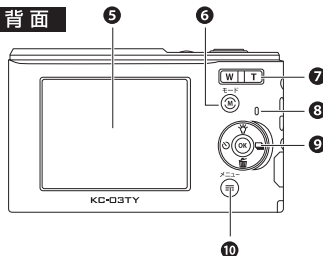
左側面



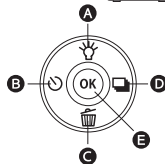
右側面



背面



マルチ選択ボタン

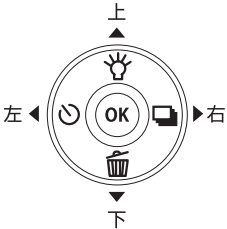


- ① レンズ
- ② 内蔵LEDライト
- ③ スピーカー
- ④ マイク
- ⑤ 液晶モニター
- ⑥ モードボタン
- ⑦ ズームボタン
- ⑧ LEDインジケータ
- ⑨ マルチ選択ボタン
- ⑩ メニューボタン
- ⑪ 電源ボタン
- ⑫ シャッターボタン
- ⑬ 電池/SDHC/SDXC
メモリーカード室カバー
- ⑭ 三脚取付穴
- ⑮ ストラップホール
- ⑯ miniUSBポート
- A 上ボタン
- B 左ボタン
- C 下ボタン
- D 右ボタン
- E OKボタン



カメラの紹介

▶ ボタンの機能を紹介します

ボタン	名 称	機 能
	マルチ選択ボタン	上ボタン : 各項目・設定時に上へ移動します。 撮影時、内蔵LEDライトを点灯／消灯します。 動画再生時、早送り再生します。 下ボタン : 各項目・設定時に下へ移動します。 再生時、ファイルのクイック消去の設定をします。 左ボタン : 各項目・設定時に左へ移動します。 静止画撮影時、セルフタイマーの設定をします。 右ボタン : 各項目・設定時に右へ移動します。 静止画撮影時、1枚撮影／連写の設定をします。 OKボタン : 設定モード時に項目を決定します。
	電源ボタン	電源をオン／オフします。



カメラの紹介

ボタン	名 称	機 能
	シャッターボタン	押すと静止画／動画を撮影します。 動画再生モード時、押すと再生を開始します。 再度押すと再生を終了します。
	ズームボタン	静止画・動画撮影時に右側に押すとズームイン(拡大)、 左側に押すとズームアウト(縮小)します。 動画再生時に右側に押すと音量が大きくなります。 左側に押すと音量が小さくなります。 静止画再生時に右側に押すと拡大表示します。 左側に押すと縮小し、最後は9分割サムネイル表示になります。
	モードボタン	モードを変更します。
	メニューボタン	各項目・設定を行います。



カメラの紹介

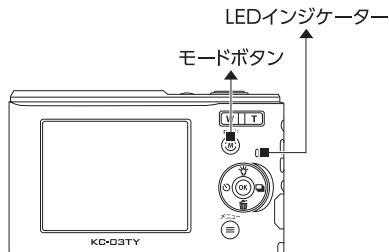
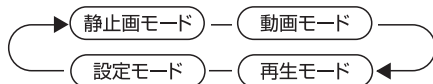
▶ LEDインジケータ表示

表示灯	色	説 明
LEDインジケータ	青色の点灯	起動時／電源オフ時に1度点灯します。
	青色の点滅	セルフタイマー作動中です。 動画撮影中です。
	赤色の点灯	充電中です。

▶ モードの変更

モードボタンを押すことにモードが切り替わります。

静止画モード／動画モード／再生モード／設定モードに切り替わります。





ご使用の前に

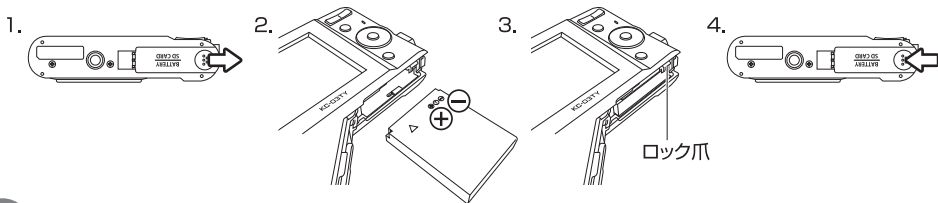
▶ 充電電池の取り付け

カメラに付属のリチウムイオン充電電池をセットします。

カメラに付属している充電電池以外は使用しないでください。

電池の取り付けは、ここに示す方法で行ってください。電池の取り付け方法が正しくないと、カメラが破損したり、火災の原因になることもあります。

1. カメラ底面の電池・SDHC／SDXCメモリーカード室カバーを ➡ の方向にスライドさせて開きます。
2. 図を参考に ⊕ ⊖ 方向を確認して、リチウムイオン充電電池をセットします。
3. 充電電池を取り外す場合は、ロック爪を上(液晶モニター側)へスライドすると充電電池が少し飛び出します。
4. 電池室蓋を閉じ、➡ の方向にスライドしてカチッと音がするまで閉じます。



- ◆ 電池をカメラ本体から着脱する場合は、必ず電源をオフにした状態で行ってください。
- ◆ 電池は ⊕ ⊖ 方向に注意し、接点が奥になるように正しくセットしてください。



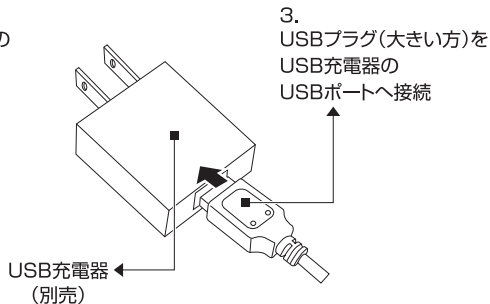
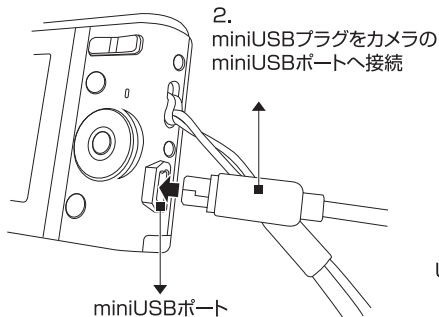
ご使用の前に

▶ 充電電池の充電

充電電池の充電は、付属のUSBケーブルを使用して行います。
カメラに充電電池を取り付けます。P.15「充電電池の取り付け」をご覧ください。

1. カメラの電源をオフにします。
2. 付属のUSBケーブルのminiUSBプラグをカメラのminiUSBポートに接続します。
3. もう一方のUSBプラグ(大きい方)を、USB充電器(別売:1ポート、0.5A以上)のUSBポートに接続します。
4. カメラの赤色LEDランプが点灯し、充電が行われます。充電が完了すると消灯します。

●次ページへ続く





ご使用の前に

●前ページより続き



- 電池残量については、液晶画面上のバッテリーアイコンに表示されます。

  電池の残量は充分です。

 充電してください。

- 電池残量表示は目安になります。
- 電池をカメラの中に入れたまま長期間カメラを使用しないと、電池が消耗します。
カメラを長期間(およそ1ヶ月以上)使用しないときは電池を取り出してください。
- 電池は気温0℃以下または40℃以上では正常に動作しない場合があります。
カメラを長時間使用すると電池およびカメラ本体が熱くなりますが、これは異常ではありません。
- 電池は充電されておられません。はじめてご使用になる時は、フル充電をしてからお使いください。



ご使用の前に

▶ リチウムイオン充電機に関する安全上の注意 (対象:リチウムイオン充電機使用カメラ)



警告 付属のリチウムイオン充電機をご使用の前に必ず、下記の安全上の注意をお読みください。

- ①初回使用時はフル充電してください。
- ②ショート、分解、加熱、充電(+)、(-)の逆方向のセットはしないでください。
- ③液漏れ等の異常が発見された場合、ただちに使用を中止してカメラから取り外し、お買い上げ先等にお申し出ください。
電解液が、皮膚や衣服に付着した場合は、失明やケガなどの恐れがありますので、きれいな水で洗い流し、すぐに医師の診断・治療を受けてください。
- ④リチウムイオン充電機をカメラから取り出して保管・持ち運びの場合、安全のためビニール袋・プラスチックケース等に入れてください。
- ⑤リサイクルのお願い



Li-ion 00

不要になった電池は貴重な資源を守るために廃棄しないで
充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

〈最寄りのリサイクル協力店へ〉

詳細は、社団法人 電池工業会ホームページをご参照ください。

・ ホームページ <http://www.baij.or.jp/>

● 使用済み充電式電池の取扱注意事項

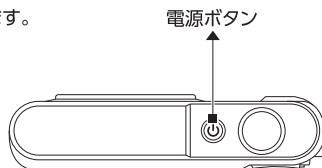
- ー プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
- ー 皮覆をはがさないでください。
- ー 分解しないでください。



ご使用の前に

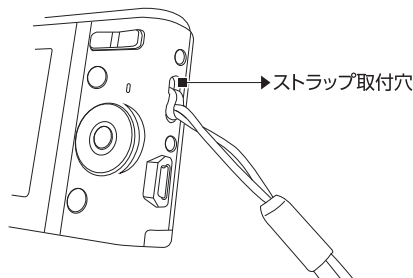
▶ 電源のオン／オフ

電源ボタンを約1秒押すと電源がオンになります。
液晶モニターが点灯します。
再度電源ボタンを約1秒押すと
電源がオフになり液晶モニターが消灯します。



▶ ストラップの取り付け

右の図を参考にして、
ストラップ取付穴に付属のストラップを取り付けてください。





ご使用の前に

▶ SDHC/SDXCメモリーカード(別売)を使用する

本製品で撮影した画像は、SDHC/SDXCメモリーカードに記録されます。

SDHC/SDXCメモリーカード(別売)を本機下面のSDHC/SDXCメモリーカードスロットにセットしてください。

カメラで撮影された静止画・動画ファイルは、自動的にSDHC/SDXCメモリーカードに記録されます。



図はSDHC/SDXCメモリーカードのイメージ図です。



- ◆本機に使用できるメモリーカードの仕様は、SDHCメモリーカード4GB～32GB(スピードクラス4～10)、SDXCメモリーカード64GB～128GB(スピードクラス10)までです。
その他の種類のカードを使用しますと、製品及びカードが故障する可能性があります。

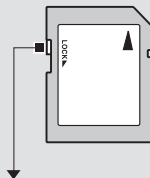


ご使用の前に

▶ SDHC/SDXCメモリーカードを使用する前に



- 新しいSDHC/SDXCメモリーカード(以下メモリーカード)は使用前に本機でフォーマット(初期化)してください。P.25～26「SDHC/SDXCメモリーカードのフォーマット」をご覧ください。
- メモリーカードをセットすると、本機はメモリーカードを認識します。
- この他にも、取り扱いに関する注意事項がP.20～26に記載されていますので必ずよくお読みください。
 - ◆パソコンと本機を接続し、撮影したデータをパソコンに転送している最中や、撮影中または再生中にメモリーカードを本製品から引き抜かないでください。撮影した画像データ、メモリーカードおよび本製品が破損する恐れがあります。
 - ◆本製品にはメモリーカードをフォーマット(初期化)する機能がついています。
フォーマットは必ず本製品で行ってください。フォーマットすると既に記録されているデータは全て消去されますのでご注意ください。
- ライトプロテクトスイッチについて
メモリーカードにはライトプロテクトスイッチ機能がついています。
下にスライドすると、メモリーカードはロックされ、メモリーカードへの記録／消去が禁止され、保存されている画像などのデータが保護されます。
記録／消去する場合は、ロックを解除してください。
- 次ページの注意事項をよくお読みになり、正しい取り扱いを行ってください。



ライトプロテクトスイッチ



ご使用の前に

❧ ファイル名／フォルダ名を変更しない

パソコンでメモリーカードに保存されている画像データのフォルダ名を変更したり、本製品で記録された画像データ以外のファイルを書き込まないでください。本製品で認識できなくなり、機能に障害がでる恐れがあります。



- メモリーカードは精密機器ですので、無理な力を加えたり、乱暴に扱わないでください。また、メモリーカードが静電気を帯びていると、うまく認識されなかったり、本製品の誤作動など障害が起こる恐れがあります。
- メモリーカードを使用中、誤作動や故障により記録内容が失われることがあります。記録されたデータの破損、消失につきましては、故障や損害の内容および原因にかかわらず、当社では一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- メモリーカードに異常があると思われる場合は、フォーマットすることで正常に動作する場合があります。その際は、本製品のフォーマット機能をお試しください。（フォーマットすると、記録されてるデータは全て消失されますので、あらかじめご了承の上、フォーマットを行ってください。必要に応じてデータをパソコンやCDにコピーしてからフォーマットしてください。）
- 電極部（金色の金属部分）が汚れてしまった場合は、乾いた清潔な布などで汚れを軽く拭き取ってください。



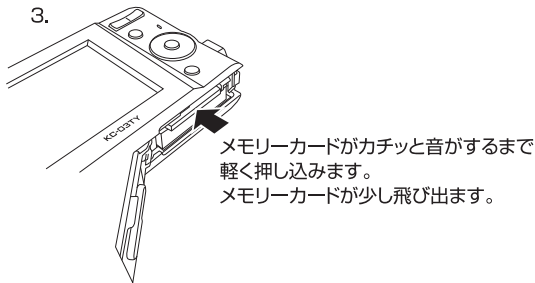
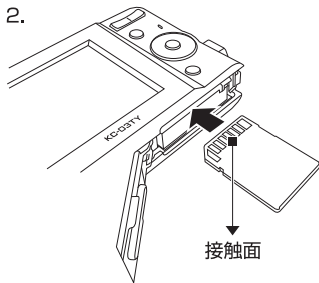
ご使用の前に

▶ SDHC／SDXCメモリーカードを取り付ける

メモリーカードはカメラ下面のSDHC／SDXCメモリーカードスロットにセットします。

1. 電池室蓋を開けます。P.15「充電電池の取り付け」をご覧ください。
2. メモリーカードの接触面が(液晶モニター側)になるようにして、メモリーカードスロットにカチッと音がするまで押し込みます。
3. メモリーカードを取り外す時は、メモリーカードがカチッと音がするまで軽く押し込みます。メモリーカードが少し飛び出ます。

●次ページへ続く



取付時はメモリーカードの接触面が本機の液晶側になるように挿入します。



ご使用の前に

●前ページより続き



- 新しいメモリーカードを使用される際は、あらかじめメモリーカードのフォーマット(P.25参照)をしてください。
- 撮影画像に付けられるファイル名(DSCFXXXX)は、メモリーカード内の画像を消去しても、連続してカウントされます。番号をリセットする場合は、カメラでフォーマット(P.25参照)して全てリセット(P.74参照)してください。



- ◆差し込みにくい時は、挿入方向が間違っている可能性があります。無理に挿入しないでください。
- ◆メモリーカードをカメラ本体から着脱する場合は、必ずカメラの電源をオフにした状態で行ってください。
- ◆すべてのメモリーカードで動作を保証するものではありません。
- ◆他のカメラなどのファイルが保存されているメモリーカードをセットすると、誤作動を起す場合があります。



ご使用の前に

▶ SDHC/SDXCメモリーカードのフォーマット

メモリーカードフォーマット(初期化)する機能です。



- ◆メモリーカードをこのカメラで使用する前には、必ずフォーマットを行ってください。
- ◆フォーマットを行うとメモリーカードに記録された全てのデータが消去され、初期化されますのでご注意ください。
- ◆メモリーカードのフォーマットは、必ず本製品のフォーマット機能で行ってください。(パソコン上でフォーマットした場合、動作保証できません。)
- ◆保護設定を行ったファイルでも、フォーマットを実行すると消去されてしまいます。
- ◆フォーマットする前に必要に応じてファイルをパソコンやCDにコピーしてください。

●次ページへ続く



ご使用の前に

●前ページより続き

1. カメラの電源をオンにします。
2. モードボタン (M) を3回押し、設定モードにします。
マルチ選択ボタン(以降は、マルチ選択ボタンを省略して上または下ボタン、右または左ボタンと記載)の右または左ボタンを押して、「初期化」を選択し、OKボタンを押します。
3. 右または左ボタンを押して、下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。
はい : メモリーカードのフォーマットをします。
いいえ : フォーマットしません。
4. 3項で「はい」を選択した場合、再度確認画面が表示されます。
はい : メモリーカードのフォーマットをします。
いいえ : フォーマットしません。
5. OKボタンを押すと設定メニューに戻ります。
6. モードボタンを押すと撮影画面に戻ります。

2.



3.



- ◆フォーマットすると全てのデータが削除されますのでご注意ください。
プロテクト(保護)されたデータも削除されます。
- ◆削除されたデータ(画像など)は元に戻りませんのでご注意ください。



ご使用の前に

▶ 日時の設定

カメラをご使用の前に、日付表示と日時の設定を行います。

1. 電源をオンにします。
2. モードボタン(Ⓜ)を押し、設定モードにします。
3. 右または左ボタンを押して、「日時」を選択し、OKボタンを押します。
4. 右または左ボタンを押して、下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。

オン: 撮影時、及び記録ファイルに日時が表示されます。

オフ: 日付を表示しません。

日時: 日付の設定を行います。

●次ページへ続く



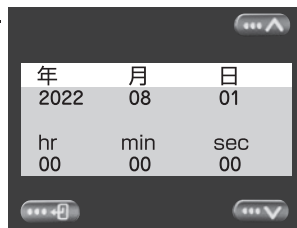


ご使用の前に

●前ページより続き

5. 4項で「日時」を選択し日時の設定を行います。
右または左ボタンを押して設定する項目(例えば年→月)に移動します。
選択されている項目は赤文字表示されます。
6. 上または下ボタンで数値を調整します。
7. すべての数値の調整が終わりましたら、
OKボタンを押して決定します。設定メニューに戻ります。
8. モードボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

5.



- ◆日付／時刻は静止画・動画共にファイルデータとして記録されますのでできるだけ正確に設定してください。
- ◆日付／時刻は初期設定(全てリセット)しても初期設定には戻りません。



ご使用の前に

▶ 言語の設定 (初期設定: 日本語)

カメラをご使用の前に、言語の設定を行います。

1. 電源をオンにします。
2. モードボタン(Ⓜ)を押し、設定モードにします。
3. 右または左ボタンを押して、「言語」を選択し、OKボタンを押します。
4. 上／下または右／左ボタンを押して、使用する言語を選択し、OKボタンを押して決定します。
5. OKボタンを押すと設定メニューに戻ります。
6. モードボタンを押すと撮影画面に戻ります。

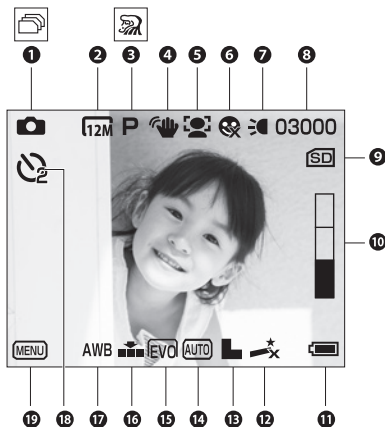


- 13の言語に対応しています。
- リセットすると言語は日本語が表示されます



静止画モード

▶ 静止画撮影モードの 液晶モニター表示



1		現在の撮影モード(静止画モード)を表示します。
2		連写 連写モードを選択していることを表示しています。P.35参照
3		画像サイズ 現在の静止画サイズ設定を表示しています。P.38参照
4		モード設定 現在の撮影モードを表示します。P.37参照
5		美肌 美肌モードを選択していることを表示しています。P.39参照
6		手振れ軽減 手振れ軽減の有効／無効を表示しています。P.49参照
7		顔検出 顔検出有効／無効を表示しています。P.50参照
8		スマイルショット スマイルショットを選択していることを表示しています。P.51参照
9		内蔵LEDライト 内蔵LEDライトが点灯されていることを表示しています。P.33参照
10		03000 静止画記録可能枚数
11		メモリーカード挿入を表示しています。P.23参照
12		ズームインジケータ ズーム領域を表示します。P.32参照
13		電池残容量 電池残量を表示します。P.17参照
14		効果 撮影する静止画に各種の効果を加えます。P.46参照
15		シャープネス 撮影画像のコントラスト設定を表示しています。P.45参照
16		AUTO ISO 現在のISO感度を表示しています。P.48参照
17		EVF 露出 現在の露出補正設定を表示しています。P.42参照
18		画質 現在の静止画の画質設定を表示しています。P.44参照
19		AWB ホワイトバランス 現在のホワイトバランス設定を表示しています。P.43参照
		セルフタイマー セルフタイマーを選択していることを表示しています。P.34参照
		メニューアイコン



静止画モード

▶ 静止画の撮影

静止画を撮影します。

1. カメラの電源をオンにします。
2. モードボタンを押して静止画モードにします。
3. 液晶モニターで被写体を捉えます。
必要に応じてズームを使用して構図を決めます。
4. カメラをしっかりと構えてシャッターボタンを完全に押し込んで撮影します。



- 被写体周辺の光量が不足している場合、手ぶれにご注意ください。
内蔵LEDライトまたは三脚などの使用をおすすめします。



静止画モード

ズーム撮影

本製品は4倍のデジタルズームが搭載されています。

ズームボタンの右側(T)を押すと、ズームイン(拡大)します。

ズームボタンの左側(W)を押すと、ズームアウト(縮小)します。

縮小 W T 拡大

ズームボタン

ズームインジケータ



- ズームの倍率が大きくなると、撮影した画像の解像度は低下します。



静止画モード

▶ 内蔵LEDライトの設定

内蔵LEDライトを設定します。

上ボタンを押すと内蔵LEDライトが点灯します。

再度、上ボタンを押すと内蔵LEDライトが消灯します。

上ボタン／内蔵LEDライト



内蔵LEDライト点灯アイコン



- 電源をオフにすると、内蔵LEDライトは消灯します。



静止画モード

▶ セルフタイマー（初期設定：オフ）

セルフタイマーを設定します。

1. 左ボタンを押して、セルフタイマーモードに切り替えます。
ボタンを押すごとに設定します。
2秒 : シャッターボタンを押してから約2秒後に撮影します。
5秒 : シャッターボタンを押してから約5秒後に撮影します。
10秒 : シャッターボタンを押してから約10秒後に撮影します。
オフ : セルフタイマーを設定しません。
2. シャッターを押すとLEDインジケーターが点滅し、撮影します。

左ボタン／セルフタイマー



セルフタイマーアイコン



- モード切替えを行うと設定はオフになります。
- 電源をオフにすると、設定はオフに戻ります。
- 静止画のみの機能です。



静止画モード

▶ 連写モード(初期設定:オフ)

1枚撮影と連写撮影(約1秒間に3枚撮影)を設定します。

1. 右ボタンを押して下記のいずれかを選択します。

1枚: 1コマ撮影に設定します。

連写: 連写モードに設定します。

右ボタン／連写モード



連写モードアイコン



- モード切替えを行うと設定はオフになります。
- 電源をオフにすると、設定はオフに戻ります。
- 静止画のみの機能です。

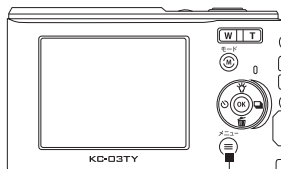


静止画モード

▶ 静止画撮影メニュー

静止画撮影時の設定をします。

1. メニューボタン(≡)を押し、撮影メニューを表示します。
2. 上／下または右／左ボタンを押して項目を選択し、OKボタンを押して、サブメニューを表示します。
3. 上／下または右／左ボタンを押していずれかを選択し、OKボタンを押します。
4. 静止画撮影モードに戻ります。



メニューボタン





静止画モード

❏ モード設定（初期設定：オート）

静止画撮影モードを選択します。

1. メニューボタン(≡)を押し、撮影メニューを表示します。
2. 上／下または右／左ボタンを押して「モード設定」を選択し、OKボタンを押してサブメニューを表示します。
3. 上／下または右／左ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

オート : 本機の機能をフルに活用します。

夜景 : 暗い場所での撮影に適しています。三脚などの使用をおすすめします。

ポートレート: 人物(ポートレート)の撮影に適しています。

風景 : 距離を無限遠に設定し、風景をくっきり鮮やかに撮影します。

逆光 : 逆光撮影で暗く写るのを防ぎます。

スポーツ : 動きの速い被写体の撮影に適しています。

パーティー: 室内での結婚式やパーティでの撮影に適しています。

ビーチ : 浜辺の強い日差しのもとでの撮影に適しています。

高感度 : ISO4000に設定します。



●すべての撮影条件での動作を保証するものではありません。



静止画モード

📷 画像サイズ (初期設定:12M)

画像サイズを選択します。

1. メニューボタン(⊕)を押し、撮影メニューを表示します。
2. 上／下または右／左ボタンを押して「画像サイズ」を選択し、OKボタンを押してサブメニューを表示します。
3. 上／下または右／左ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

36M(補間) : 7936×4480

24M(補間) : 5600×4200

20M(補間) : 5200×3900

16M(補間) : 4608×3456

12M(補間) : 4000×3000

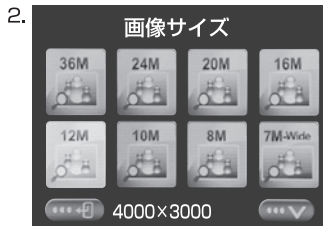
10M(補間) : 3648×2736

8M : 3264×2448

7.5M-Wide : 3648×2048

5M : 2592×1944

3M : 2048×1536



- 補間とは、ある既知の数値データを基にして、既知データ間の値を埋めるものです。
- サイズが大きいほど高画質ですが、データ容量も大きくなり、撮影可能枚数が少なくなります。
- 静止画のみの機能です。



静止画モード

美肌 (初期設定: オフ)

美肌モードを設定します。

1. メニューボタン(≡)を押し、撮影メニューを表示します。
2. 上／下または右／左ボタンを押して「美しさ」を選択し、OKボタンを押してサブメニューを表示します。
3. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

オン：美肌モードを有効にします

オフ：美肌モードを無効にします。



- 美肌モードをオンにするとそれまでのモード設定(夜景、スポーツなど)の設定が無効になり、美肌モードをオフするとモード設定が「P」にリセットされます。



静止画モード

❧ 撮影モード(初期設定:オフ)

1枚撮影と連写撮影(約1秒間に3枚撮影)のいずれかを選択します。

1. メニューボタン(≡)を押し、撮影メニューを表示します。
2. 上／下または右／左ボタンを押して「撮影モード」を選択し、OKボタンを押してサブメニューを表示します。
3. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。
1枚：1コマ撮影を選択します。
連写：連写モードを選択します。



- 電源をオフにすると、設定はオフに戻ります。
- 静止画のみの機能です。



静止画モード

⏏ セルフタイマー (初期設定: オフ)

セルフタイマーを設定します。

1. メニューボタン(≡)を押し、撮影メニューを表示します。
2. 上／下または右／左ボタンを押して「セルフタイマー」を選択し、OKボタンを押してサブメニューを表示します。
3. 詳細についてはP.34「セルフタイマー」を参照ください。



- 電源をオフにすると、設定はオフに戻ります。
- 静止画のみの機能です。



静止画モード

⌕ 露出(初期設定:オフ)

手動で露出値を変更する場合に使用します。

被写体の撮影結果が暗く潰れる場合は+ (明るく) 補正し、
明るすぎる場合には- (暗く) 補正します。

露出値は、-3.0~+3.0 (1EVステップ) の間で調整することができます。

1. メニューボタン(≡)を押し、撮影メニューを表示します。
2. 上/下または右/左ボタンを押して「露出」を選択し、
OKボタンを押してサブメニューを表示します。
3. 上/下または右/左ボタンを押して補正值を選択し、
OKボタンを押します。





静止画モード

☞ ホワイトバランス (初期設定: オート)

様々な被写体周囲の状況に応じて
ホワイトバランスを調整し、希望の色調に近づけます。

1. メニューボタン(≡)を押し、撮影メニューを表示します。
2. 上／下または右／左ボタンを押して「ホワイトバランス」を選択し、OKボタンを押してサブメニューを表示します。
3. 上／下または右／左ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

オート : 自動で調整します。

屋光 : 屋外の晴天時での撮影に適しています。

曇り : 屋外の曇天時、日陰での撮影に適しています。

蛍光灯 : 室内の蛍光灯下での撮影に適しています。

電球 : 室内の白熱灯下での撮影に適しています。





静止画モード

画質 (初期設定: ファイン)

撮影する静止画の画質を設定します。

1. メニューボタン(≡)を押し、撮影メニューを表示します。
2. 上／下または右／左ボタンを押して「画質」を選択し、OKボタンを押してサブメニューを表示します。
3. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

スーパーファイン: 最高画質

ファイン : 高画質

標準 : 標準画質



●高画質なほど鮮明ですが、データ容量も大きくなり、撮影可能枚数が少なくなります。

●静止画のみの機能です。



静止画モード

シャープネス (初期設定: ノーマル)

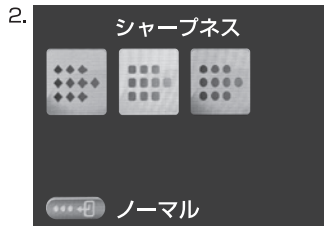
撮影する静止画のコントラストを設定します。

1. メニューボタン(≡)を押し、撮影メニューを表示します。
2. 上／下または右／左ボタンを押して「シャープネス」を選択し、OKボタンを押してサブメニューを表示します。
3. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

シャープ : シャープな画質になります。

ノーマル : 標準撮影します。

ソフト : ソフトな画質になります。



●静止画のみの機能です。



静止画モード

効果(初期設定：ノーマル)

撮影する静止画に効果を加えることで、印象の異なる写真にします。

1. メニューボタン(≡)を押し、撮影メニューを表示します。
2. 上／下または右／左ボタンを押して「効果」を選択し、OKボタンを押してサブメニューを表示します。
3. 上／下または右／左ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

ノーマル	： 効果を加えません。
白黒	： 白黒画像にします。
セピア	： セピア画像にします。
レッド	： 赤色フィルターののような効果を加えます。
グリーン	： 緑色フィルターののような効果を加えます。
ブルー	： 青色フィルターののような効果を加えます。
夕日	： 夕焼けののような効果を加えます。
暖色	： 温かみのある効果を加えます。
寒色	： 青みを帯びた効果を加えます。
露出オーバー	： 露出をプラス補正した効果を加えます。
IR	： 赤外線撮影風の効果を加えます。





静止画モード

●前ページより続き

- バイナリ : 白黒2値での画像にします。
- ビビット : 色彩を強調した画像にします。
- 低彩度 : 色彩を抑えた画像にします。
- LOMO : 白黒で四隅の暗い画像にします。
- ネガ : ネガフィルムのような画像にします。



静止画モード

ISO感度 (初期設定:オート)

撮影時の感度を設定します。

感度を上げると暗い場所での撮影も可能になりますが、ノイズが増え、画質が低下します。感度を下げると、ノイズが少なくなめらかな画質を得ることができますが、多くの光量が必要となります。

1. メニューボタン(≡)を押し、撮影メニューを表示します。
2. 上／下または右／左ボタンを押して「ISO感度」を選択し、OKボタンを押してサブメニューを表示します。
3. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

ISO AUTO：自動で調整します。

ISO 100：屋外の晴天時での撮影に適しています。

ISO 200：屋外の曇天時、または明るい室内での撮影に適しています。

ISO 400：屋外の曇天時、または光量が少ない室内でフラッシュを発光して撮影する場合に適しています。



●上記説明はあくまでも目安です。撮影結果を確認しながら、撮影状況に合わせて設定してください。



静止画モード

手ぶれ軽減 (初期設定: オン)

静止画撮影時の手ブレを軽減します。

1. メニューボタン(≡)を押し、撮影メニューを表示します。
2. 上／下または右／左ボタンを押して「手振れ軽減」を選択し、OKボタンを押してサブメニューを表示します。
3. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。
オン：手振れ軽減を有効にします。
オフ：手ぶれ軽減を無効にします。



●静止画のみの機能です。



静止画モード

顔検出(初期設定: オン)

顔を認識します。自動でシャッターはおりません。

1. メニューボタン(≡)を押し、撮影メニューを表示します。
2. 上／下または右／左ボタンを押して「顔検出」を選択し、OKボタンを押してサブメニューを表示します。
3. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

オン： 顔検出を有効にします。

オフ： 顔検出を無効にします。



- すべての条件で動作を保証するものではありません。
- 静止画のみの機能です。
- スマイルショットをオンにすると顔検出も連動してオンになります。



静止画モード

☞ スマイルショット(初期設定: オン)

笑顔を認識すると、自動的にシャッターがおります。

1. メニューボタン(≡)を押し、撮影メニューを表示します。
2. 上／下または右／左ボタンを押して「スマイルショット」を選択し、OKボタンを押してサブメニューを表示します。
3. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

オン：スマイルショットを有効にします。

オフ：スマイルショットを無効にします。



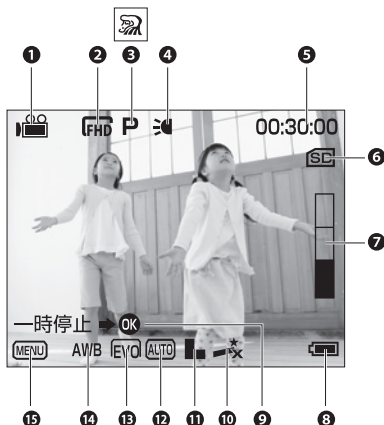
●すべての撮影条件での動作を保証するものではありません。

●静止画のみの機能です。



動画モード

▶ 動画撮影モードの液晶モニター表示



1		現在の撮影モード(動画モード)を表示します。
2	FHD	ビデオサイズ 現在の動画サイズ設定を表示しています。P.56参照
3	P	モード設定 現在の撮影モードを表示します。P.37参照
4		美肌 美肌モードを選択していることを表示しています。P.39参照
4		内蔵LEDライト 内蔵LEDライトが点灯されていることを表示しています。P.33参照
5	00:30:00	動画撮影可能時間
6		メモリーカード挿入を表示しています。P.23参照
7		ズームインジケータ ズーム領域を表示します。P.32参照
8		電池残容量 電池残量を表示します。P.17参照
9		動画撮影一時停止／録画スタート P.53参照
10		効果 撮影する静止画に各種の効果を加えます。P.46参照
11		シャープネス 撮影画像のコントラスト設定を表示しています。P.45参照
12	AUTO	ISO 現在のISO感度を表示しています。P.48参照
13	EVF	露出 現在の露出補正設定を表示しています。P.42参照
14	AWB	ホワイトバランス 現在のホワイトバランス設定を表示しています。P.43参照
15	MENU	メニューアイコン



動画モード

▶ 動画の撮影

動画を撮影します。

1. カメラの電源をオンにします。
2. 液晶モニターで被写体を捉えます。
必要に応じてズームを使用して構図を決めます。
3. シャッターボタンを押して撮影を開始します。
4. OKボタンを押すと、撮影を一時停止します。
再度OKボタンを押すと、撮影を開始します。
5. シャッターボタンを押すと撮影を終了し、撮影画面に戻ります。



- 1ファイルの最大容量は4GBです。
- メモリー残容量が無くなると、カメラは自動的に撮影を終了します。
- 動画撮影中および一時停止中は、省電力機能は作動しません。



動画モード

▶ ズーム撮影

P.32「ズーム撮影」をご覧ください。

▶ 内蔵LEDライト撮影

P.33「内蔵LEDの設定」をご覧ください。

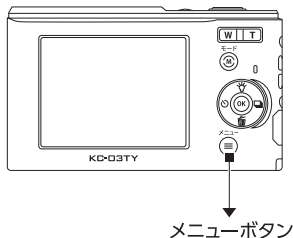


動画モード

▶ 動画撮影メニュー

動画撮影時の設定をします。

1. メニューボタン(≡)を押し、撮影メニューを表示します。
2. 上／下または右／左ボタンを押して項目を選択し、OKボタンを押して、サブメニューを表示します。
3. 上／下または右／左ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。
4. 動画撮影モードに戻ります。



▶ モード設定(初期設定:オート)

P.37「モード設定」をご覧ください。



動画モード

▶ ビデオサイズ (初期設定: Full-HD)

撮影する動画サイズを設定します。

1. メニューボタン(≡)を押し、撮影メニューを表示します。
2. 上／下または右／左ボタンを押して「ビデオサイズ」を選択し、OKボタンまたは右ボタンを押してサブメニューを表示します。
3. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

Full-HD : 1920×1080

HD : 1280×720

VGA : 640×480



●サイズが大きいほど高画質ですが、データ容量も大きくなり、撮影時間が少なくなります。



動画モード

美肌 (初期設定: オフ)

P.39「美肌」をご覧ください。

露出 (初期設定: オフ)

P.42「露出」をご覧ください。

ホワイトバランス (初期設定: オート)

P.43「ホワイトバランス」をご覧ください。

シャープネス (初期設定: ノーマル)

P.45「シャープネス」をご覧ください

効果 (初期設定: ノーマル)

P.46「効果」をご覧ください。

ISO感度 (初期設定: オート)

P.48「ISO感度」をご覧ください。



再生モード

▶ ファイルの再生

モードボタン (M) を押して「再生モード」にします。

最後に撮影されたファイルが液晶モニターに表示されます。

液晶モニター左上に、静止画ファイルは [▶] アイコン、

動画ファイルは [フィルム] アイコンが表示されます。

右または左ボタンを押して再生するファイルを選択します。

1. カメラの電源をオンにします。
2. モードボタン (M) を押して「再生モード」にします。
3. 左または右ボタンを押して、再生したいファイルを選択します。

静止画ファイルアイコン



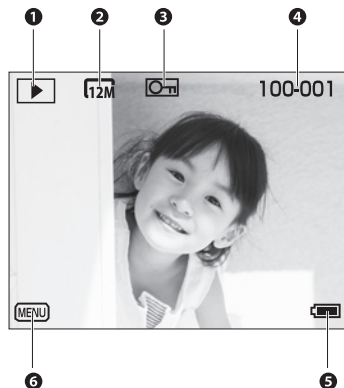
動画ファイルアイコン





再生モード

▶ 静止画再生モードの液晶モニター表示



①		現在の再生モード(静止画)を表示します。
②		静止画サイズ 撮影された静止画サイズを表示しています。
③		保護 選択されたファイルを保護します。P67参照
④	100-001	フォルダ番号 - ファイル番号
⑤		電池残容量 電池残量を表示します。
⑥		メニュー



再生モード

再生ズーム

静止画ファイルの表示中、画像を拡大表示することができます。

1. 静止画ファイルを表示します。
2. ズームスイッチを右に押すと拡大表示、
その後ズームスイッチを左に押すと縮小表示します。
液晶モニター左下に上／下／左／右アイコン◀▶が表示されます。
3. 上／下または左／右ボタンを押して、拡大表示範囲を移動します。
4. OKボタンを押すと、通常表示に戻ります。



上／下／左／右アイコン



●静止画ファイルのみの機能です。



再生モード

サムネイル表示

9分割のサムネイル表示に切り替えます。
ファイルを素早く探すことができ、大変便利な機能です。

1. 静止画ファイルを表示します。
2. ズームスイッチを左に押すと9分割のサムネイル表示に切り替わります。
3. 上／下または右／左ボタンを押して、
ファイルの選択(赤枠)を移動します。
4. OKボタンを押すと、選択したファイルが全画面表示になります。





再生モード

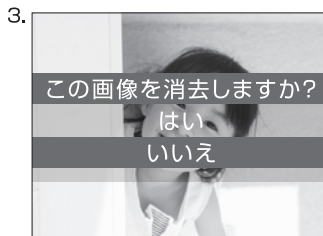
🔍 クイック消去

記録したファイルを消去します。

1. 静止画ファイルを表示します。
2. 下ボタンを押します。
下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。
3. はい : 表示中のファイルを削除します。
いいえ : 表示中のファイルを削除しません。
4. OKボタンを押すと静止画表示に戻ります。



下ボタン/クイック消去



- 消去したファイルは元に戻せませんのでご注意ください。
- プロテクト(保護)されたファイルは消去できません。



再生モード

▶ 動画再生モードの液晶モニター表示



1		現在の再生モード(動画)を表示します。
2		動画サイズ 撮影された動画サイズを表示しています。
3		保護 選択されたファイルを保護します。P67参照
	100-070	フォルダ番号 - ファイル番号
4		00:00:10 動画再生時間
5		電池残容量 電池残量を表示します。
6	00:01:08	動画ファイルの長さ
7		再生アイコン
		動画再生中動画に表示します。
8		シャッターボタンを押すと動画再生／停止します。
		一時停止
9		一時停止／再生
		メニュー
10		音量



再生モード

▶ 動画ファイルの再生

動画ファイルを液晶モニターで再生します。

1. 動画ファイルを表示します。
2. シャッターボタンを押すと再生を開始します。
3. ズームボタンの右側(T)を押すと、音声が大きくなります。
ズームボタンの左側(W)を押すと、音声が小さくなります。
4. 再生中、OKボタンを押すと一時休止します。
再度、OKボタンを押すと再生開始します。
5. 再生中、上ボタンを一度押すと2倍速先送り再生し、
二度押すと4倍速先送り再生します。
下ボタンを一度押すと2倍速巻き戻し再生し、
二度押すと4倍速巻き戻し再生します。
OKボタンを押すと一時休止し、再度OKボタンを押すと通常再生に戻ります。
6. シャッターボタンを押すと再生を停止し、ファイルの先頭部分に戻ります。



動画再生中



●一時停止中・早送り／早戻し中は、音量を調節することができません。

▶ クイック消去

P.62「クイック消去」をご覧ください。



再生モード

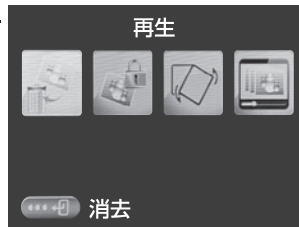
▶ 再生メニュー

再生メニューモードの様々な設定を行います。

1. モードボタン (M) を押して「再生モード」にします。
最後に撮影されたファイルが液晶モニターに表示されます。
2. メニューボタン (≡) を押して、再生メニューを表示します。
3. 右または左ボタンを押して、
再生メニューで設定するファイルを選択します。



2. 3.





再生モード

消去

記録したファイルを消去します。

1. 「消去」を選択し、OKボタンを押してサブメニューを表示します。

2. 下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

この画像：表示されたファイルを1枚消去します。

全て：全てのファイルを消去します。

3. ☒ 「はい」を選択すると消去します。

☐ 「いいえ」を選択すると消去されず、
ファイルの液晶モニター表示に戻ります。



●消去したファイルは元に戻せませんのでご注意ください。

●保護されている記録ファイルは消去されません。



再生モード

▶ 保護

撮影したファイルの誤消去を防ぐために保護します。

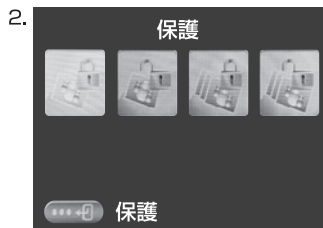
1. 「保護」を選択し、OKボタンを押してサブメニューを表示します。
2. 下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

保護 : 表示されたファイルを保護します。

解除 : 保護されたファイルの保護を解除します。

全部を保護 : 全てのファイルを保護します。

全部を解除 : 保護された全てのファイルの保護を解除します。



●保護されたファイルには液晶モニターに「」アイコンが表示されます。



再生モード

▶▶ 回転

液晶モニターに表示中のファイルを回転します。

1. 「回転する」を選択し、OKボタンを押してサブメニューを表示します。
2. 下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。
 - 90° : ファイルを反時計回りに90°回転します。
 - 180° : ファイルを反時計回りに180°回転します。
 - 270° : ファイルを反時計回りに270°回転します。



- 回転した状態で保存されます。
- 静止画のみの機能です。



再生モード

▶ スライドショー

メモリーに記録されている全ての静止画を、一定の間隔で表示します。

1. 「スライドショー」を選択し、OKボタンを押してサブメニューを表示します。
2. 下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。
 - 3 Sec : ファイルの表示間隔を3秒に設定します。
 - 5 Sec : ファイルの表示間隔を5秒に設定します。
 - 10 Sec : ファイルの表示間隔を10秒に設定します。
3. スライドショーを開始します。
スライドショー中に上ボタンを押すと、スライドショーを終了します。



● 静止画のみの機能です。動画は表示しません。



設定モード

▶ 設定メニュー

カメラの様々な設定を行います。

1. カメラの電源をオンにします。
2. モードボタン(Ⓜ)を押して「設定モード」にします。
3. 上／下または右／左ボタンを押して、各項目を選択し、サブメニューを表示します。

2.



▶ 言語(初期設定:日本語)

P.29「言語」をご覧ください。

▶ 日時

P.27「日時の設定」をご覧ください。



設定モード

省電力(初期設定: オフ)

カメラを操作しない時間が一定以上続くと、電力節約のため、カメラの電源が自動的にオフになります。

1. 「電源オフ」を選択します。
2. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。
オフ : 自動的にオフしません。
1Min : 1分間操作をしないと、電源が自動的にオフになります。
3Min : 3分間操作をしないと、電源が自動的にオフになります。
5Min : 5分間操作をしないと、電源が自動的にオフになります。
3. 設定モード画面に戻ります。



●USB充電器を接続している時は本機能は無効です。



設定モード

🔊 操作音 (初期設定: オン)

カメラの操作に関する操作音を設定します。

1. 「操作音」を選択します。
2. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。
オン: 操作音を設定します。
オフ: 操作音を設定しません。
3. 設定モード画面に戻ります。





設定モード

電源周波数 (初期設定: 50Hz)

撮影場所によって、正しい電源周波数を選択し、
蛍光灯のチラツキを抑制します。

1. 「電源周波数」を選択します。
2. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択し、
OKボタンを押して決定します。
50Hz: 電源周波数を50Hzにします。
60Hz: 電源周波数を60Hzにします。
3. 設定モード画面に戻ります。



●日本では50Hzと60Hzの交流電源が使われています。
静岡県の富士川から新潟県の糸魚川あたりを境に東側が50Hz、西側が60Hzです。



設定モード

フォーマット

メモリーカードをフォーマット(初期化)する機能です。
P.25「SDHC/SDXCメモリーカードのフォーマット」をご覧ください。

リセット

カメラの設定を工場出荷の状態に戻します。

1. 「リセット」を選択します。
2. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。
はい : 初期設定に戻します。
いいえ : 初期設定に戻しません。
3. ●「はい」を選択すると初期設定されます。
●「いいえ」を選択すると初期設定されず、ファイルの液晶モニター表示に戻ります。



- リセットしても日付／時刻はリセットされません。
- 例えばEnglish(英語)を選択時にリセットすると、カメラの表示言語が日本語に戻りますのでご注意ください。



パソコンとの接続

▶ パソコンとの接続

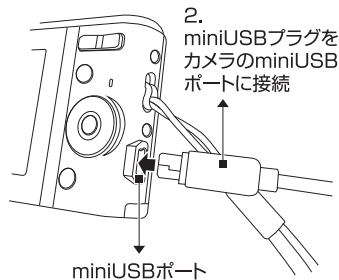
カメラとパソコンを接続し、ファイルをパソコンに取り込みます。

1. カメラの電源をオンにします。
付属USBケーブルのUSBプラグ(大きい方)をパソコンに接続し、miniUSBプラグ(小さい方)をカメラに接続します。
2. カメラの液晶モニターにUSB接続のアイコンが表示されます。

PC画面には

〈Windowsで使用する場合〉

- 本製品をパソコンのUSBポートに接続すると、マイコンピュータに「リムーバブルディスク」として認識されます。



●次ページに続く





パソコンとの接続

●前ページより続き

4. Windowsの場合、記録ファイルは、「PC」→「USBドライブ」→「DCIM」→「100MEDIA」などにあります。
5. 終了する場合は、各OSに適した方法で安全に付属のUSBケーブルを外してください。



パソコン接続中の
液晶画面表示



●お使いのパソコンのOS・バージョン等により表示は異なります。

▶ データを保存

〈Windowsで使用する場合〉

本製品をパソコンのUSBポートに接続すると、マイコンピュータに「リムーバブルディスク」として認識されます。



パソコンとの接続

📌 転送時のご注意

画像をパソコンに取り込む際には、以下の注意事項を必ず守ってください。

- ❗ ◆[リムーバブルディスク]からコピーしている際(画像取り込み時)は、USBケーブル、メモリーカードを絶対に抜かないでください。内蔵メモリー、メモリーカードが破損する恐れがあります。
- [リムーバブルディスク]内にあるフォルダ及びファイルの名前を変更しないでください。
- [リムーバブルディスク]内にパソコンからデータなどをコピーしないでください。
カメラの動作が不安定になる原因になります。
- [リムーバブルディスク]をパソコンでフォーマットしないでください。
- [DCIM]フォルダ内にあるファイルデータは、カメラ内に保存されているファイルデータを表示しています。このフォルダにあるデータを削除してしまうと、カメラ内の画像が消去されてしまいますのでご注意ください。

📌 ファイル名について

ファイル名は「DSCF」で始まり、連番の4桁の数字が後に付きます。新しいフォルダのファイル番号は0001から始まります。ファイル番号が999を越える場合、新しいフォルダが作成されます。

- ❗ ◆パソコン上でメモリーカード内のフォルダ名及びファイル名を変更しないでください。
カメラでファイルを再生できない可能性があります。



パソコンとの接続

WEBカメラ

パソコンと接続してWEBカメラとしても使用できます。

はじめにデータ保護のため、SDHC/SDXCメモリーカードを取り外してください。

※例:Windows10の場合

1. カメラとPCを付属USBケーブルで接続します。
カメラのモードボタンを押しながら電源ボタンを押します。
液晶表示が右図のようになります。
2. Windowsのスタートボタンをクリックし、「カメラ」アプリを起動します。
アプリ画面右上のカメラの変更アイコン(丸枠内)で
「USB CAMERA」に切り替えます。
3. 「カメラ」アプリ上にKC-O3TYの画像が表示されます。
4. WEBカメラを終了するにはそのままUSBケーブルを外します。
同時にカメラの電源はオフになります。

1.



2.





故障かな?と思ったら

[症状] 電源が入らない

[原因] 充電電池の取り付け方向が間違っている可能性があります。

[対策] 充電電池の ⊕ ⊖ を確認し、正しい方向でセットしてください。(P.15参照)

[原因] 電池残量が不足している可能性があります。

[対策] 充電電池を充電してください。(P.16参照)

[症状] 電池またはカメラが熱を持っている

[原因] カメラの連続使用または内蔵LEDライトによるもので異常ではありません。

[症状] 電源を入れたとすぐ切れる

[原因] 電池残量が不足している可能性があります。

[対策] 充電電池を充電してください。(P.16参照)

[症状] シャッターボタンを押しても写真が撮れない。

[原因] シャッターボタンが完全に押されていない可能性があります。

[対策] シャッターボタンを完全に押し込んでください。

[原因] メモリーカードの容量がいっぱいになっている可能性があります。

[対策] 新しいメモリーカードを使用するか、不要なファイルを消去してください。(P.66参照)



故障かな?と思ったら

[症状] シャッターボタンを押しても写真が撮れない。

[原因] SDHC/SDXCメモリーカードが正しくフォーマットされていない可能性があります。

[対策] フォーマットできない場合、SDHC/SDXCメモリーカードを交換してください。

[原因] SDHC/SDXCメモリーカードのライトプロテクトスイッチがロックされている可能性があります。

[対策] SDHC/SDXCメモリーカードのライトプロテクトスイッチを解除してください。(P.21参照)

[症状] ピントが合わない

[原因] レンズが汚れている可能性があります。

[対策] レンズペーパーか柔らかく乾いた布でレンズを拭いてください。

[症状] ファイルが削除できない

[原因] ファイルが保護されている可能性があります。

[対策] 保護を解除してください。(P.67参照)

[症状] ファイルをダウンロードできない

[原因] お使いのパソコンのハードディスクの空き容量が不足している可能性があります。

[対策] パソコンのハードディスクの空き容量をご確認ください。

[原因] カメラの電源が入っていない可能性があります。

[対策] カメラの電源を入れてください。



記録可能枚数／時間の目安

▶ 静止画

SDHCメモリーカード 4GB @4の場合			
静止画サイズ	画 質		
	スーパーファイン	ファイン	ノーマル
36M(補間)	484	692	1020
24M(補間)	551	788	1161
20M(補間)	639	913	1346
16M(補間)	814	1163	1715
12M(補間)	1081	1544	2276
10M(補間)	1299	1857	2737
8M	1623	2319	3419
7M-Wide	2320	3315	4885
5M	2575	3679	5422
3M	4124	5892	8687



記録可能枚数／時間の目安

▶ 動画

SDHCメモリーカード 4GB @4の場合	
動画サイズ	記録可能時間
Full-HD	約16分
HD	約29分
VGA	約47分



- 撮影の状況・被写体によって記録されるファイルサイズが一定ではないため、記録可能枚数／時間に差がでます。静止画・動画ともに目安としてご参考ください。
- 記録可能枚数／時間に達する前に電池がなくなる場合がございます。



仕様

▶ 仕様

イメージセンサー	1/3.2型 CMOS
総画素数	824万画素
有効画素数	約800万画素
レンズ	f=4.8mm F2.8
焦点距離(35mmフィルム換算)	36mm
ズーム	デジタル4倍
撮影距離	約1m~∞
液晶モニター	2.4型 IPS
外部メモリー※1	SDHCメモリーカード(スピードクラス4~10):4~32GB(別売) SDXCメモリーカード(スピードクラス10):64~128GB(別売)
ファイル形式	静止画:JPG 動画: MJPEG(AVI) 音声: PCM
静止画サイズ	36M(補間)、24M(補間)、20M(補間)、16M(補間)、12M(補間)、 10M(補間)、8M、7.5M-Wide、5M、3M
動画サイズ	1920×1080 30fps、1280×720 30fps、 640×480 30fps
シャッタースピード	1/8000秒~1/15秒



仕様

ISO感度	オート、100、200、400
セルフタイマー	オフ、2秒、5秒、10秒
内蔵ライト	LED
露出補正	±3EV 1EVステップ
ホワイトバランス	オート、昼光、曇り、蛍光灯、電球
手振れ軽減機能	電子式
電源	リチウムイオン充電電池 NP-6L
入出力ポート	USB2.0
DPOFプリント	非該当
ダイレクトプリント	非該当
寸法	約98×58×23mm
重量	約86g(付属品、充電電池を含まず)
	約105g(充電電池、メモリーカードを含む参考値)

※1 すべてのSDHC/SDXCメモリーカードで動作を保証するものではありません。



仕様

▶ 必要なパソコン動作環境

カメラとパソコンをUSB接続にて使用する場合、以下の条件を満たすパソコンが必要となります。

- 下記OSがプリインストールされたパソコン

Windows対応OS
Windows8.1 (32/64bit) ~ 11

動作保証について

- 動作環境は最低限の条件を満たした仕様です。ご使用のOSに対応した動作環境が必要になります。
 - 動作環境を満たすパソコンの中でも、一部機種の設定、構成により正常に動作しない場合があります。
あらかじめご了承ください。
 - 各OSからアップグレードしたパソコンでは動作保証致しません。
 - USBハブや拡張USBポートに接続した状態での使用、自作機および改造を加えたパソコンについては動作保証いたしません。
- ◎ SDHC / SDXCメモリーカードによっては使用できないものがあります。
- ◎ 記載の商品名、会社名は各社の商標もしくは登録商標です。
- ◎ 仕様や外観は製品改良等のため予告なく変更をする場合がありますのでご了承ください。



保証規定

保証規定

保証期間：お買上げ日より1年

- (1)修理の際は必ずお買上げ店舗のレシートを添付のうえ、ご購入店またはケンコー・トキナーお客様相談室までお申し付けください。
- (2)お買上げ店舗のレシートの添付なき場合は有料修理となります。
- (3)正常な取り扱い中に故障を生じた場合以外は有料修理となります。
(下記①～⑧など)
- ①取扱いの乱用、使用法の誤りによる故障 ②保存上の不備のため湿度などによって生じた故障 ③火災や浸水・天災によって生じた故障 ④当社以外の場所にての修理・改造・分解による故障 ⑤その他類似的起因による故障 ⑥消耗品(LED・充電電池等)のお取り替え ⑦落下、衝撃、砂、泥かぶり、冠水・浸水などによる故障 ⑧個人売買およびオークションなどでご購入の場合
- (4)ご購入年月日・ご購入店名のなきものは無効です。
- (5)レシートは大切に保管してください。
- (6)修理品に送料、交通費等が掛った場合はお客様にてご負担願います。
- (7)当社製品を使用して付随製品が故障した際の保証は致しません。
- (8)出張による点検・修理・取扱説明・設定等には無償・有償を問わず対応しておりませんので、あらかじめご了承ください。
- (9)本保証は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- (10)本保証は保証規定により無償修理をお約束するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 【お願い】
修理に関しましては修理箇所、内容を明確にご指示ください。

■個人情報について

※本保証を通じてお客様からご提供いただいた個人情報を、修理完了後、速やかに廃棄いたします。

※ご協力いただきました記入事項につきましては、ご提供いただきました個人情報のうち、年齢・性別等個人を識別、あるいは特定できない情報と関連付け、統計的データに加工して利用する場合があります。

※当社は、お客様の個人情報を第三者へ開示いたしません。但し、以下の場合を除きます。

- お客様の承諾を得た場合。
- お客様の明示した利用目的の達成に必要な範囲内において、業務委託先に個人情報を開示する場合。但し、この場合に当社は、法令上、個人情報の安全管理が図れるよう、当該業務委託先に対して必要かつ適切な監督義務を負います。

発売元：株式会社 ケンコー・トキナー

〒164-8616 東京都中野区中野5-68-10 KT中野ビル

ケンコー・トキナー ホームページ <https://www.kenko-tokina.co.jp/>



製品について詳しくはコチラ

製品に関するお問い合わせ



お客様お問合せフォームはこちらのQRコードから。
パソコンからは、
「ケンコー・トキナーお問い合わせ」で検索。

ケンコー・トキナーお客様相談室



0120-775-818

携帯・IP電話からは

03-6840-3389 ※通話料金がかかります。

受付時間：月～金 9:15～17:30(土、日、祝日、年末年始等を除く)

お願い 本機の廃棄方法は、お住まいの市町村の方法に従ってください。

